

秋田市立旭川小学校 5 年生に森林教室を実施

令和 5 年 6 月 2 9 日、秋田市大平山自然学習センター「まんたらめ」において、秋田市立旭川小学校 5 年生児童 9 5 名を対象に「総合的な学習の時間」の一環として森林教室を開催しました。当日は、「森と木の学習」、「種飛ばし実験」、「丸太切り体験」、の3つのメニューを体験していただきました。

「森と木の学習」では、森林の役割や管理方法、木材の利用について学びました。「種飛ばし実験」では、自分では動けない樹木の子孫の拡げ方についてクイズ形式で学んだあと、折り紙でラワンやニワウルシの種子の模型を作り、高く放り上げて飛ばし、種が風に乗って運ばれることを確認しました。「丸太切り体験」では、昔のノコギリを使っの伐採や、現在使われているチェーンソーや高性能林業機械について学んだあと、ノコギリを使用した丸太切りを体験しました。切り出した木片は、紙やすりで磨いてきれいにし、焼き印を押してもらい、コースターとして完成させました。

後日、「森林の大切さを知ることができた」、「ノコギリで木を切るのは大変だと思った」、「木は色々と工夫して、子孫を残すということがわかった」、などの感想をいただきました。



森林の役割などの学習



折り紙で種子の模型を作っています



昔と今の道具についての学習



ノコギリで丸太切りを体験しました